

令和3年度小谷村ケーブルテレビ放送番組審議会議事録

日 時	令和3年10月18日(月)14:00~15:00	場 所	小谷村役場 201 会議室	記録者	上川(由)
出席者	<p>【委員】8名 上川喜一、今井頌治（代理・中村豊）、中村恭之、北村和則、北村利幸、花岡理香、萩原慶一郎、北村順二</p> <p>【事務局】3名 賣場崇大、諏訪匠、上川由香里</p>				
No	内 容				
1	開会				
2	協議事項				
	<p>(1) 9月放送開始の新番組について</p> <p>事務局より、資料1および番組動画に基づいて説明がなされた。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>委員) 新番組の制作頻度は？</p> <p>事務局) 「おたりがぶったTV」「おたりのおしごと」「〇〇のなんでもやってみっか!」は、月1本制作・放送していく。</p> <p>委員) 小谷村のゆるキャラ「たりたり」を活用してはどうか。</p> <p>委員) 以前は観光イベント等で活用されていたが、現在の管理団体では人員・予算不足のため活用が難しい状態にあるため、ぜひ活用してもらいたい。</p> <p>委員) 「たりたり」のキャラクター像がぶれないよう、規約を明確にしたうえで出演してもらいたい。</p> <p>事務局) 「たりたり」含め、活用できる素材は随時取り入れていきたい。</p> <p>(2) 放送番組に関する情報発信について</p> <p>事務局より、資料2に基づいて説明がなされた。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>委員) 番組表や YouTube・Twitter は、受け手側がその存在を知らなければ情報を受け取りにくく感じる。見たかった番組を見逃してしまうこともあった。通知に気づきやすい LINE での広報はどうか。もし実現されるなら Twitter と発信内容をすみ分け、LINE の通知過多にならないよう工夫してもらいたい。</p> <p>事務局) 他用途のため既に LINE アカウントを運用している。今後 CATV 情報発信にも活用可能だが、コメント発信数の上限が登録料金で左右されるため、無料発信できるタイムラインを用いるなど工夫して発信したい。また、SNS の持つリアルタイム性を活かしていきたい。</p> <p>委員) Instagram、Facebook は Twitter と投稿を連携させることができるため、これらも開設してはどうか。また、複数の SNS 管理をする際には、寄せられたメッセージへの反応はどうするか検討しておいた方がよいだろう。</p> <p>事務局) 各 SNS の特徴を踏まえ、情報発信の目的を明確にして取り組みたいと考えている。現状では Twitter での発信が適していると判断したため Instagram 等は連動していないが、今後必</p>				

要に応じて他 SNS との連携も進めていきたい。

委員) 情報は、発信側が様々な手段を用いても受け手側が認識しなければ見てもらえない。受け手側が情報の欲しいタイミングで得られるような状態を低コストで実現できるよう努めてもらいたい。

委員) 村内の他団体で運営している SNS との連携も検討してはどうか。

(3) 協賛団体募集について (案)

事務局より、資料 3 に基づいて運転資金の自主調達手段としてまず協賛募集を行いたい旨説明がなされた。

資料 3 を素案として事務局内で揉んで、年内の募集開始を目指すこととなった。

【委員からの意見等】

委員) 協賛表示やコマーシャル放送の期間は決まっているか？

事務局) 四半期としたい。

委員) 「おたりのおしごと」の取材先に商品紹介をしてもらい、それをコマーシャルとして扱うのはどうか。

委員) 観光連盟は村内向けの情報発信は少ないため、協賛を得るのは難しいかもしれない。考えられる内容としては、観光チャンネル (11ch) の運用や、冬季に訪れた観光客向けにグリーンシーズンのアピールをするなどが。

委員) 情報発信ツールとして利用してもらえる流れを作るために、更なるアピールが必要。

3 委員からの質疑

(1) 新番組の企画提案はいつ、どこへ提案すればよいか。

事務局) タイミングはいつでも可。事務局内では月 1 回制作会議を行っているので、いただいた提案はその中で周知検討していく。

委員) イベント等の取材希望はいつでもよいと思うが、番組の新設は継続性も含めて検討が必要となるだろう。

(2) 他市町村の CATV との連携はどのようになっているか。

事務局) 近隣の白馬村・大町市は公営のため小谷からの番組受入が難しい様子がある。

現在放送している番組では大町市のきらりステーションがあるが、それ以外にも番組提供が可能か白馬・大町の担当者とやり取りを進めている。

4 閉会

特記事項

次回開催は、2022年2月実施予定となった。